

## <様式1>

# 令和3年度 さいたま市立岸町小学校 自己評価書

校長           笠原 実           印

## 1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 新さいたま市の授業づくりを基に本物を見せたり、聴かせたりする等の授業改善、指導方法の工夫に努め、学ぶ楽しさ、分かる喜びを味わえる授業を展開し、力がつたと実感できる教育活動を行う。
- (2) 「思いやりのある心をはぐくむ」を重点とし、児童に寄り添い、積極的に繊細な生徒指導、教育相談を組織的に展開し、いじめの防止、早期発見、対処に努める。
- (3) 校内の環境美化に努め、美しくきれいで安全な学校にする。
- (4) 業務の見直しを行い、教職員のワーク・ライフ・バランスの充実が図れるようにする。

## 2 評価結果について

- ・「授業が分かりやすい」について肯定的に回答した児童は96%を超えている。また、保護者の「授業は、分かりやすい」について94%を超えている。本校の授業は児童にとって、分かりやすく、工夫した指導が展開されていると考える。6学年の全国学力テストにおいても、全教科で国や市の平均を上回っている。しかし、国語・算数ともに、無回答率が市平均を上回っており課題となっている。
- ・「友だちと仲良く生活しています」について肯定的に回答した児童は95%を超えている。月に一度の生徒指導委員会や心と生活のアンケートの活用、SC、SSWと連携等を通し、児童に寄り添った指導に努めた。また、『潤いの時間』の指導を通して円満な人間関係の構築が図れるようにした。
- ・無言清掃を実施し、短い時間で集中して清掃活動に力を注ぐよう指導を続けた。PTAやチャレンジスクール、地域ボランティアと連携し緑化活動を行った。保護者の「学校は、環境美化に努めている」について肯定的に回答した保護者は93%を超えた。
- ・「先生方は、働き方改革を推進している」について肯定的な回答をした教職員は、68%だった。「削減」をしていくだけではなく、意識の向上等、多方面から働き方を見直していかなければならない。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・児童が自分の考えをもち、自信をもって表現できるように、より具体的な指導方法の改善を図り、全学年で系統立てて指導をしていく。
- ・働き方改革については、上意下達だけではなく、教職員一人ひとりが主体的に考えて推進できるよう、職員研修を充実させる。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。